

テーマ「参画と協働が活発なまちのイメージ」

Aグループ（増田会長、A委員、B委員）

①人があつまれる場所があること（つながり）

- ・「やってみたい」が言える空気
- ・人と人をつなぐ人がいる
- ・「まちの課題」に対して、市民全員が意見を出し合う姿
- ・やりたい人と応援したい人が出会える
- ・想いを形にできる
- ・相談できる人、気軽に話せる人がいる
- ・住民どうし顔がみえるように
- ・老若男女が定期的に一同に会して出た「まちの課題・意見」に対し、自治体と
いっしょに対策を実施している。
- ・人があつまる
- ・5万人分の意見
- ・発信しやすさ（老若男女）
- ・「市民の意見」に対して自治体に対策と実施を支援する姿

②老若男女関わらず意見を出せること

- ・行政や地域、資源をもっと身近に感じられる
- ・日常のつながり
- ・それぞれ見ているゴールがちがう

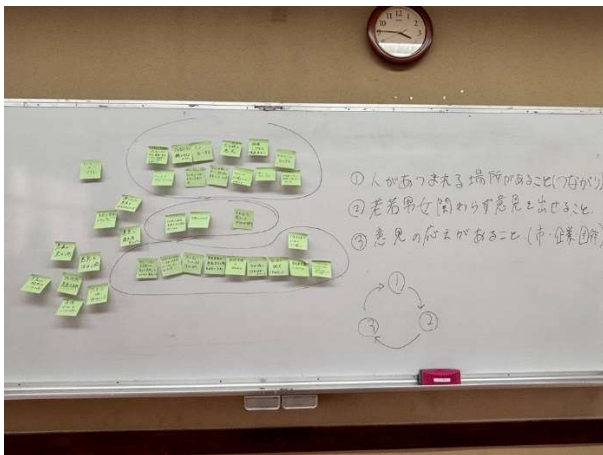
③意見の応えがあること（市・企業・団体）

- ・1回きりではなく繰り返し
- ・市民＝各家の老若男女が「集える場所」を自治体が整備している
- ・「自治会及び班内」で各家の老若男女が一同に会し、話し合う姿
- ・歩いて通える距離にある「集える場所」
- ・市民全員が意見を出せる場、自治会の「班」
- ・学校単位にまとめる
- ・活動しやすいようなハードを市がもつ
- ・地域の拠点としての行政区
- ・歩行者天国でイベント

- ・白岡駅西口開発の関連で、駅周辺に宿泊施設
- ・八幡神社と連携し、お祭りや歩行者天国、出店などのイベント開催

④その他

- ・市民が自由にできる「市」
- ・課ごとに意見をポストイット
- ・意見の優先度の見える化
- ・市民が自由にできる「市」
- ・地域内伝言板
- ・意見をほめる場
- ・意見が見える街
- ・直接言うのはハードルが高い
- ・区長さん経由はハードルが高い
- ・アンケートはかたい！



Bグループ（門田副会長、C委員、D委員）

前向きな意識改革

- ・批判より応援と挑戦
- ・住民が元気、いきいきしている
- ・まち全体の一体感
- ・街の課題を自分事として考える空気がある
- ・地域活動への参加（参画）
- ・市民の無関心
- ・自己中心的
- ・協力、協調の欠如

新しい公共

- ・「新しい公共」への理解がある
- ・市民、行政、企業の三者が役割を理解している

見せ方・まきこみ方

- ・回覧板を見ない
- ・広報が上手

いろいろな市民活動

- ・行政区からの脱会
- ・自治体が活発
- ・ボランティアなどの福祉活動が活発
- ・ソフト面が活発な街
- ・斬新なアイデア、独自の取り組み

連携

- ・課題の解決に官・民で取り組んでいる
- ・専門の官民連携部署がある（窓口が1つ）

参加機会をつくる

- ・市政情報の入手先
- ・市民参加の機会

- ・ 市民へのフィードバック
- ・ 市、議会、市民との情報共有

企業・法人の公益的な活動への協力

- ・ 下請けではなく対等なパートナー
- ・ 営利も認められる街

